

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公開番号】特開2013-3142(P2013-3142A)  
 【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-001  
 【出願番号】特願2012-124056(P2012-124056)  
 【国際特許分類】

G 0 1 N 3/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 3/30 N

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月27日(2015.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

試験構造物(26)に対する鈍的衝撃試験用の鈍的衝撃試験装置(1)であって、  
 前記試験構造物に隣接して配置された、軌道レール(4)を有する装置フレーム(2)

、

前記軌道レールと嵌合し、前記軌道レールの傾斜を制御する軌道角度設定機構(14)

、

前記軌道レール(4)上を転がるように適合された衝撃台車(20)であって、前記衝撃台車(20)は、試験構造物(26)に衝撃を与えるように配置されている、衝撃台車(20)、及び

前記装置フレーム(2)に嵌合するフレーム引上げ機構(8)であって、前記フレーム引上げ機構(8)は、前記装置フレーム(2)の垂直位置と、前記試験構造物(26)に対する前記衝撃台車(20)の衝撃点の垂直位置と、を調整するように操作可能である、フレーム引上げ機構(8)を含む装置(1)。

【請求項 2】

前記衝撃台車(20)上に衝撃バンパー(22)をさらに含む、請求項 1 に記載の装置(1)。

【請求項 3】

前記フレーム引上げ機構(8)は、少なくとも 1 つのシリンダ(9)と、前記シリンダ(9)から伸びるピストン(10)と、を含む、請求項 1 または 2 に記載の装置(1)。

【請求項 4】

前記軌道レール(4)は、円筒形であり、前記衝撃台車(20)は、前記軌道レール(4)に嵌合する溝付きの台車車輪(21)を含む、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の装置(1)。

【請求項 5】

前記衝撃台車(20)上に少なくとも 1 枚の重量プレート(30)をさらに含む、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の装置(1)。

【請求項 6】

前記軌道角度設定機構(14)は、少なくとも 1 つのシリンダ(15)と、前記シリンダ(15)から伸びるピストン(16)と、を含む、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記

載の装置（１）。

**【請求項 7】**

前記衝撃台車（２０）に取り外し可能に嵌合する解放機構（３２）をさらに含む、請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の装置（１）。

**【請求項 8】**

請求項 2 に記載の前記鈍的衝撃試験装置（１）を操作する方法（４００）であって、前記装置（１）は、前記衝撃台車（２０）に嵌合し、前記衝撃台車（２０）を選択された位置に支持するように構成された解放機構（３２）をさらに含み、前記方法は、

前記装置（１）を前記試験構造物（２６）に隣接して配置するステップと、

前記衝撃台車（２０）を前記装置フレーム（２）の前記軌道レール（４）上の前記選択された位置まで引上げるステップと、

前記装置フレームの垂直位置と、前記試験構造物（２６）に対する前記衝撃台車（２０）の衝撃点の垂直位置と、を調整するように前記フレーム引上げ機構（８）を操作するステップと、

前記衝撃台車（２０）を前記解放機構（３２）に取り付けるステップと、

前記衝撃台車（２０）が前記選択された位置から前記衝撃バンパー（２２）が前記試験構造物（２６）に衝突する衝撃位置まで前記軌道レール（４）を転がり落ちるように、前記衝撃台車（２０）を開放するように前記解放機構（３２）を操作するステップと、を含む方法。